

ワクワク!

第83号

しながわ情報紙

ホットな品川区の情報や話題をお届けします。

発行日:平成27年1月15日(木曜)

発行者:若林ひろき 品川区議会議員

ブログ <http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/>

ツイッター https://twitter.com/wakabayashi_h



もくじ 1P

- ・12月議会質問の結果
- ・「伝統の技と味 しながわ展」を開催
- ・私の本棚「ユマニチュード入門」

2P

- ・第4回定例会 一般質問の概要
- ・羽田空港における騒音対策を求める意見書を提出
- ・シナガワ博士の区議会講座

2020年、東急全駅にホームドア設置へ



東急電鉄は、大井町線・東横線・田園都市線の全駅のホームドア設置を、2020年を目指して整備することを決定しました。従来の計画を10年以上前倒しするものです。ホーム転落事故や接触事故を防ぐとともに、安定した運行が大幅に改善される見通しです。東急さん、がんばれ！

12月議会質問の結果

(1) 障害のある子どもへの特別な支援

Q. 幼稚園・保育園と小学校をつなぐ切れ目のない支援では、支援を必要とする全ての子ども情報共有シート(サポートブック)の作成が必要だ。

A. シートは継続した支援が提供されるよう保護者が活用するもので、全ての子どもを対象に作成していく。

Q. 小中学校の特別支援教育の拠点とする教育センター改革の具体像は。

A. 相談窓口が複数であったため情報共有が不十分であった。センターに一本化することにより専門家による多面的で迅速な支援を行っていく。

Q. 発達障がいなどの基礎的な認識を先生や保育士等関係者が共有する仕組みが必要だ。

A. 子どもと接する教員等の障がいへの理解が大切であり、特別支援に関わる研修等を通じ正しい理解に努める。



(2) 地域包括ケアシステムと地域福祉

Q. 高齢者等の見守りの強化ともなる介護保険の生活支援サービスに、社会福祉法人の参画は。

A. 今後、国が同法人の社会貢献活動の定義の明確化や活動への拠出制度の創設が行われ、区も要請等を検討する。

Q. 地域センター毎に高齢者等の生活を個別に支援するコーディネーターの配置計画について、地区間の人口規模などに差がある。適正な配置の考えは。

A. 人口等地域の状況やニーズ等を勘案していく。

(3) 高齢者・障がい者福祉

Q. 利用者等の満足度を高めるための取り組みは。

A. 障がい者も含め高齢化が見込まれ、地域で支える地域包括ケアシステムの推進では、民間事業所やNPO等とも協働し総合的な視点で福祉施策を推進していく。



(4) コミュニティバスなどの公共交通

Q. アンケートやモニターを含めた調査の着手を。

A. 検討してきたが本当に利用する人数を把握する手法が見いだせていない。慎重に検討したい。



Q. タクシー協会がワンボックスカーを運行し交通利便性に寄与したい意向があるが、区の対応は。

A. 提案内容を確認中であり、研究していく。

(5) 飼い主のいない野良猫問題

Q. 飼い主のいない猫に対し迷惑を感じる住民がいる。餌やりなどのルールづくりについて、条例化も含めた考えは。

A. 不妊・去勢手術費の助成や餌やりなどの項目をまとめたパンフを作成するなど取り組んできた。引き続きマナーやルールの向上に取り組む。

(6) 地域実情に配慮した区政運営

Q. 区事業展開では、地域の固有の歴史、成り立ちや土地への思い入れなどを考慮するなど、地域・住民との合意形成が必要である。

A. 一部事業では区と地域の間で認識の差から誤解や行き違いが生じた。歴史的背景や地域実情を踏まえた説明等の時期設定など、地域へより丁寧で早くからの合意形成に努める。

「第25回 伝統の技と味 しながわ展」を開催！

品川には歴史に育まれた伝統の「技」と「味」があります。伝統工芸の職人さんが実演する卓越した技術や、品川ならではのこだわりの味をお楽しみください。入場は無料です。

【日時】1月31日(土)、2月1日(日) 午前10時～午後5時(2月1日は午後4時30分まで)

【場所】きゅりあん7階イベントホール

※ 当日はしながわみやげコンペティションで認定された「しながわみやげ」の数々も展示・販売されます。

【問合せ】商業・観光課観光担当 ☎5498-6350



「ユマニチュード入門」
本田美和子著／医療院その4
介護が必要になつても、「その人が人間らしい存在であり続けるために、人間らしさを尊重し続ける」ケア＝ユマニチュード。
援助の4つの柱「見る」「話す」「触れる」「立つ」のうち、「触れる」をみていきましょう。
「触れる」：ポジティブな触
れ方には、優しさや慈愛、信
頼が感じられます。動作とし
ては、広く、柔らかく、ゆっ
くり、なでるように・包み込
むように。逆にネガティブな
触れ方は、粗暴で拙速になり、
接触面積は小さくなり、つか
れたり、引つかれたり、つねつ
たりしてしまいます。同じ触
れるでも、腕や足、体幹など
に比べ手や顔、唇に触れた場
合の脳に伝わる情報は大き
なり、触れる場所によつて伝
わり方が違います。また、同
じ力でも、手のひら全体を使
う時と、指先だけの場合では、
圧力が違います。ケアを受け
る人が痛みを感じることな
く、むしろ心地よいという感
覚を得るために、触れる場所
や力を意識し、「広い面積で、
ゆづくり、優しく」触れるこ
とが「触れ
る」技術の
核心です。

